



通信

HP 学校だより
R7. 2. 19
NO. 4 1
文責 伊藤美佳



「好き」「得意」を認めて伸ばす活動

18日（火）のふれあい集会は、「ピアノと歌のスカウト企画（アンケートでピアノ、歌が得意だと言った子をスカウトして、全校の前で発表してもらおう）」でした。

今回、全校の前で披露したのは16名。ピアノが得意だという子は3名、歌が得意だという子は13名でした。歌は、一曲歌うのではなく、サビの部分その歌を歌いたい子で分けて（「アイドル」は5名、「ライラック」は2名、「Bling Bang Bang Born」は2名、「はい よろこんで」は4名で）歌っていました。みんな堂々と自分の「好き」や「得意」を披露しているところに「あこがれ」ました。

これは集会委員会の企画です。この企画のよいところは自分の得意を他の人に知ってもらえることにあります。スカウトされた側は、自分が自信あるもの、好きなものを他の人に知ってもらい、認めてもらえることで、更に好きになったり、自信がついたりしたことでしょう。見ていた子たちも、上手な技や演技を学ぶ機会になります。また、その姿に「あこがれ」て「自分もやってみたい」につながるかもしれません。どちらにとっても意味のある企画で、すてきな発表の場となりました。

昨年、けん玉が得意な子が、昼休みに「けん玉教室」を自主的に開きました。けん玉を教える側も、教えてもらう側もどちらにとってもうれしい会となったことを集会を見ていて思い出しました。

自分の得意を生かして、自主的に企画運営し、みんなに喜んでもらえる経験は、これからの人生に大きく影響を与えていると感じています。これからの豊坂っ子の活動がとても楽しみです。



「磁石つりぼり」開催

磁石の勉強をした3年3組の子たちが、低学年の子たちを「磁石つりぼり」に招待して、磁石の性質を遊びながら伝えていました。

3年生理科では「磁石」について学びます。学んだことを使って、磁石につく物、つかない物で楽しい釣り堀をつくりあげました。低学年の子たちも、たくさん釣ろうと挑戦していました。「ビー玉ってつれるのかな」と疑問を口にした1年生に、「やってみて確かめてみたらわかるよ」と答えを言うのではなく、自分で疑問を解決できるようにやさしくアドバイスしていた3年生の姿が心に残りました。

